

ホワイトヘルメット団が孤児を使い、「化学攻撃」のフィルムを製作中

【訳者注】シリアに対する侵略の手段でも、特に露骨で、人を食っているのは「ホワイトヘルメット団」である。これはほとんど誰もが知っているにも関わらず、あえてそれを無視して、同じ手——ちょっとあり得ない、アサドが自国民を毒ガスで殺していると宣伝する手——を何回も使おうとする。しかも彼らが西側に雇用されていることも、彼らがテロリストと協力していることも、今ではほとんど完全に知られている。当然ながら、ロシア軍は、その行動のすべてを見透かしていることがこれでわかる。White Helmets については、これまでに何回となく取り上げた。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180420.pdf>
<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180307.pdf> などその新しい例にすぎない。

RT

September 13, 2018



資料写真：ホワイトヘルメット団が、2018年4月7日の、ドゥーマの化学攻撃と言っているものの、後の風景（頭から水をかけられている）

追加資料：「シリアのイドリブのヤラセ化学攻撃の撮影が始まる——ロシア防衛省」

<https://www.rt.com/news/438158-staged-chemical-attack-idlib/>

いくつもの中東のテレビチャンネルと、あるアメリカの放送局のこの地域の姉妹局が、「イドリブ地域の Jisr al-Shughur 市で、あるヤラセの化学攻撃の 9 本のビデオを撮った」、これはシリア政府の罪にされる予定のものだ、と「シリアのロシア調停センター」は、水曜日、声明で述べた。

すべてのビデオには、ホワイトヘルメット団の活動家が映っているが、これは市民たちに援助を提供していることになっている、とこの声明は主張している。

ロシア軍の詳しい説明によると、9 月 11 日に、ホワイトヘルメット団と、Tahrir al-Sham（シリアでは通常アルカーイダと呼ばれる）が、映画撮りに引き続いて会合を行い、そこで彼らは 9 本のビデオから 2 本を選び、これを将来、国連と化学兵器禁止機構（OPCW）に送ることになっているという。残りのビデオは、質が悪いので、プロパガンダと社会メディア・ネットワーク用に使われることになっている、とロシア軍は言っている。

と同時に、9 月 9 日以来、ホワイトヘルメットは Khan Shaykhun で、化学攻撃と言われるもののリハーサルと言われるものを行っている、同じ声明で言っており、このリハーサルには 8 歳から 12 歳までの 1 ダースほどの子供を含めて、30 人の市民が出演している、とロシア高官は言っている。

ロシア軍によるさらなる指摘によると、ホワイトヘルメットは、テロリストたちと一緒にあって、フェイク・ビデオの撮影に参加していた人々に、「毒性の塩基系物質の現実の使用」を用意しているという。毒物を爆発させる場所の、ぶっつけ本番の準備は、Hurras al-Din テロリスト集団（すなわち、アルカーイダの同盟者である宗教組織の守護者）のメンバーによって実行される、と声明は主張している。

その兵士たちは、22 人の子供と彼らの両親を、アレッポの行政区域のいくつかの村から選んでおり、彼らはニセの化学兵器攻撃を実行するのに、役割を演ずるだろう。

もう一つの子供のグループは、避難民キャンプから誘拐された孤児たちからなっており、彼らは**映画の死の場面に使われる**ことになっている。彼らは現在、アルヌスラ・テロリスト集団の支配する Ikab 収容所の、建物の一つに収容されている。

ヤラセの化学兵器攻撃を準備する活動の兆しは、Kafir-Zait から報告されている、と軍は主張しており、毒性の化学薬品を送り届られ、この挑発行為をやらせられる 2 つの村の名もあがっているという。